

平成30年7月17日
群馬県教育委員会管理課
県立学校施設係 内線4549

県立学校における既存ブロック塀等の安全点検等状況調査について

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震により、大阪府高槻市立寿栄小学校においてプールのブロック塀が倒壊し、その塀に挟まれた女子児童が亡くなるという事故が発生した。

これを受けて文部科学省が全国の学校設置者に実施を要請した「学校におけるブロック塀等状況調査」のうち外観に基づく点検結果について、次のとおり取りまとめた。

1. 外観に基づく点検（第1段階）

学校職員による現地調査（目視）の結果、安全対策が必要なブロック塀等は、45校にあり、全長13,760mである。

現状(平成30年7月12日時点)			外観に基づく点検					点検を踏まえた安全対策		
学校数 (校)	ブロック塀等を有する学校数 (校)	ブロック塀等の全長 (m)	外観に基づく点検が完了している学校数 (校)	点検結果			安全性に問題があるブロック塀等を有する学校数 (校)	応急対策が完了している学校数 (※1) (校)	安全上対策が必要なブロック塀等の全長 (※2) (m)	
				高さ・控え壁等について問題がある学校数 (校)	うち、高さについて問題がある学校数 (校)	劣化・損傷がある学校数 (校)				
高等学校	61	45	13,482	45	30	7	26	37	37	11,001
中等教育学校	1	1	286	1	1	0	1	1	1	286
特別支援学校	22	10	2,629	10	2	0	7	7	7	2,473
計	84	56	16,397	56	33	7	34	45	45	13,760

※1 応急対策が完了している学校の対策別内訳

注意喚起	38校
近寄れない措置	3校
注意喚起+近寄れない措置	4校

※2 今後の調査の結果、数値が変わる可能性がある。

2. ブロック内部の点検（第2段階）

6月22日から管理課職員（建築技師）による現地調査を行っており、8月10日までに完了する予定である。

なお、主な調査方法は、次のとおりである。

調査方法	調査内容
目視	控え壁の有無、基礎の有無、モルタルの充填の有無等
計測	塀の高さ、塀の厚み、塀の長さ、基礎の深さ等
鉄筋探査機	鉄筋の有無、鉄筋の位置及び間隔
その他	ブロック塀の周辺状況、改修方法も併せて検討

3. 安全対策の考え方

安全対策が必要な塀のうち、基準の高さを超過しているもの、通学路に面しているもの、特別支援学校及び避難所に指定された学校に設置されているものなど早急に対応が必要なものについては、優先的に安全対策を講じていきたい。